

優秀賞

丹羽さんは、ビジネスエコシステム再構築時のステークホルダー離脱に関する影響分析について取り組みました。社会課題解決に寄与する事業を実施するビジネスエコシステムは、ステークホルダー間の多重的かつ複雑な連携によって実現されているため、エコシステム内の影響波及分析が容易ではありません。そのためステークホルダーが離脱するなどしてエコシステムの再構築が必要となった場合、生み出される価値やステークホルダーへの影響を正確に特定が難しくなります。丹羽さんは Stakeholder Value Network (SVN) によってモデル化されたエコシステム価値循環モデルを対象とし、SVN 内の多重的な価値循環を分割する手法を提案しました。具体的には、ロジックモデルを用いてエコシステム内で実現される製品・サービスとそれによって生み出される価値を整理し、その対応関係を用いて SVN を分割する方法論を提案しました。丹羽さんはユーザ評価を実施し、提案手法の有効性と限界を評価しました。

エコシステムの影響波及解析という重要だが難度の高い課題に対し、SVN、ロジックモデルという適切なモデル化手法を組み合わせることで効果的な分析手法を構築した点が高く評価され、優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一